

# 上尾市地域創生長期ビジョン(案)及び上尾市地域創生総合戦略(案) 市民コメントの意見と市の考え方

◎意見募集期間 平成27年10月2日(金)～10月22日(木)

◎応募意見状況 応募者数 3名 意見数 6件

No.	計画	項目	意見	市の考え方
1	総合戦略 長期ビジョン	基本目標	<p>長期ビジョン及び総合戦略において、基本目標が、「①安定した雇用を創出する」、「②出産・子育ての希望をかなえる」、「③健やかなくらしを守り、魅力ある街を創る」の順で書かれています。これは、国の総合戦略における「政策の基本目標」を踏まえてのものと考えますが、長期ビジョンの図表34の市民の意識調査結果や、上尾市が住宅都市であること(第5次上尾市総合計画 はじめに 3(1)②「沿革」より)を踏まれば、基本目標の第1に「安定した雇用を創出する」のは適当ではないと考えます。また、長期ビジョンの「目指す将来の姿」に「安定した雇用を創出する」に関連する記述が見受けられないことから、基本目標の第1に「安定した雇用を創出する」のは適当ではないと考えます。</p> <p>そのため、基本目標は、「出産・子育ての希望をかなえる」、「健やかなくらしを守り、魅力ある街を創る」、「安定した雇用を創出する」の順で書くべきと考えます。また、これに伴い、総合戦略の重点施策の順序も改めるべきと考えます。</p> <p>なお、さいたま市は、経済的な目標は3番目に置いているようです。</p>	<p>長期ビジョン及び総合戦略に掲げている3つの基本目標については、それぞれ今後の人口減少を抑制するために重要であることから、目標には順番はないと考えています。</p>
2	総合戦略	基本目標	<p>総合戦略の基本目標において数値目標が書かれていることは、たいへんよいことと考えます。しかし、現在の数値(基準値)がいくつなのかということは、「参考資料」を見なければ理解できません。分かりやすさの確保の観点から、基準値を数値目標の近くに書くべきと考えます。</p>	<p>基本目標においての数値目標、重点施策おいての重要業績評価指標(KPI)について、基準値や指標の設定理由を明確化することは必要と考え、巻末に数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の説明資料を追加します。</p>
3	総合戦略	基本目標	<p>総合戦略の基本目標の転入超過の数について、「0」と置かれています。これは、基準値(平成26年)が転入超過であったことを踏まえてのものと考えますが、長期ビジョンで「平成14(2002)年以降は、転入者数が転出者数を僅かながら上回る転入超過の状況が続いており、「平成15(2003)年を除き、転入者数と転出者数がほぼ同程度で拮抗している」と分析している下で置く目標としては低すぎる(現状を是認しているだけであり目標として置くに値しない)のではないかと考えます。例えば、過去5年間の転入超過の数の平均を取り、それをある程度上回る目標を置くといったことをすべきと考えます。</p>	<p>転入超過となってる年齢層(男性の30歳代前半・40歳代前半、女性の20歳代後半・30歳代前半)を転入超過にすることを想定して、転入超過の数を「0人以上」にすると表現しましたが、「転入超過の数」として、長期ビジョンで掲げる将来目指すべき人口のうち、平成31年までの5年間の社会増減の数である「2,095人」に変更します。</p>
4	総合戦略	基本目標 重点施策	<p>総合戦略の安定した雇用を創出するにおいて、「消費者と生産者が近い「農業」、上尾駅周辺の中心市街地を核とした「商業」、ものづくりの伝統がある「工業」などの“強み”を持っており、それを再確認し、強化・育成する」、「商業・工業・農業が持つ“強み”を強化・育成」という記述が見受けられますが、総花的であり、どのような理念で、どのような分野に力を入れて産業振興を図ろうとしているのか理解しかねます。</p> <p>そこで、「住宅都市」としての魅力が高まるような産業分野の育成を中心に置いてはどうかと考えます。例えば、買い物を楽しめる街にするという観点から商業を、緑の多い街、地産地消ができる街という観点から農業を振興するといったようなことです。意見として抽象的ですが、考慮いただければと思います。</p> <p>なお、「①産業の活性化」に「本市の定住人口の促進につながる」との記述がありますが、日本語して意味が通りませんので、「本市の定住人口の増加につながる」、「本市への定住の促進につながる」等と改めはどうかと考えます。</p>	<p>総合戦略では、商業・工業・農業が持つ“強み”を強化・育成するために、限定的なテーマにとらわれることなく、可能性のあるものについて事業が実施できるよう表現しています。</p> <p>なお、「本市の定住人口の促進につながる」は表現が適切でないため、記述内容を「本市の定住人口の確保につながる」に変更します。</p>
5	総合戦略	重点施策	<p>少子化により、子どもへの投資額が多くなっており、塾に通わせる親が非常に多いです。その理由は、子どもに学力の向上を期待しているからです。</p> <p>上尾市のホームページでは上尾市学力状況調査結果が公開されていますが、現状の分析や対応方法の検討もしっかりとされていますが、実に結びついていないような気がします。</p> <p>「上尾市の教育は熱心であり、学力の向上が期待できる」ということを感じれば、子育て世代は、教育水準が高いといわれる都内や浦和に引越すことなく上尾に住み続けてくれ、また、新たに引っ越してくる人もいでしょう。塾とコラボするなど他の力をうまく活用することも検討していただきたいと考えます。子どもの学力向上が図られ、親が期待できるような新たな取組みを実施してほしいと思っています。</p>	<p>重点施策の「2 出産・子育ての希望をかなえるー(2)子どもが健やかに育つことができるまちづくりー①子どもの可能性を広げる」に記載しているとおり、総合戦略を實踐する上で、教育の充実は重要な施策のひとつと考えます。</p>
6	総合戦略	重点施策	<p>人口減少傾向の対応として、子育て世代の取り込みは必須であり、総合戦略を一読して、本戦略3つの目標「雇用」、「子育て」、「住環境」はすべて私のような子育て世代にとって重要な事項であると感じた。</p> <p>一方で地方創生により既に都市間競争は始まっている。上尾市は、①規模、知名度等が圧倒的であるさいたま市、②圏央道の開通により企業立地が促進し、雇用の増加が見込める桶川市・北本市、及び③土地区画整理事業が大規模に行われ、良好な住環境を有する伊奈町等に隣接しており、こうした近隣の市町と競争していかなければならない。</p> <p>子育て世代である私の意見は、総合戦略の推進・目標の達成のために、例えば①教育現場における一部民間ノウハウの導入等、②魅力ある住環境を創るための大胆な土地利用の規制や補助等、一部の自治体のみ行っている独自性や優位性のある施策を導入することである。</p> <p>となく行政は保守的であり、こうした施策の導入には慎重な傾向があるように感じる。しかし一部の自治体での事例もあり、こうした施策の導入は検討に値するのではないかと。</p> <p>都市間競争の中、総合戦略は他自治体との差別化が必要だと思われる。またそれが上尾市のアピールにつながりチャンスである。上尾市行政の独自性・積極性に期待したい。</p>	<p>重点施策の「2 出産・子育ての希望をかなえるー(2)子どもが健やかに育つことができるまちづくりー①子どもの可能性を広げる」及び「3 健やかなくらしを守り、魅力あるまちを創るー(1)安心で良好な住環境のまちづくりー①安心でのびのびと子どもが育つ環境の整備」に記載しているとおり、総合戦略を實踐する上で、教育の充実及び魅力ある住環境を創ることは、それぞれ重要な施策と考えます。</p>